

科目名	東アジア政治思想B	科目コード	1532	単位数	2
担当者名	佐藤 千歳	開講semester	第4semester	開講年次	2年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

● 授業のねらい

アジア社会の構造を読み解く手がかりとして、20世紀初頭から現代に至る主要な論者の学説を学びながら、アジア社会が抱える問題や可能性を分析します。

そのうえで、アジア社会との接点を探るフィールドワークを通じ、理論と社会的事象を結びつけるよう試みます。

● 到達目標

社会学の理論を手がかりに、日本・韓国・中国の東アジア主要3カ国の課題と展望を考察できるようになること。
異なる社会を客観的に比較する視点を持ち、異なる社会背景を持った他者との共生を肯定的に考えられるようになること。

● 授業内容

- 1週目 社会構築主義：シュッツと現象学的社会学脱近代
- 2週目 社会構築主義：近代化以降について
- 3週目 8章 ハーバースと公共空間＋ディスカッション
- 4週目 社会化とジェンダー
- 5週目 社会構築主義 バーガー／ルックマン
- 6週目 フーコーと過剰な権力
- 7週目 ビッグデータとフーコー的権力＋ディスカッション
- 8週目 ブルデュー、文化資本と文化的再生産
テスト
- 9週目 ソーシャル・キャピタル論の可能性と限界
- 10週目 身の回りのソーシャル・キャピタリスト＋ディスカッション
- 11週目 構造化論 ギデンズ・ベックと近代化の社会学
- 12週目 圧縮された近代と日本、韓国、中国＋テスト
- 13週目 調査学習 北海道の共生社会
- 14週目 調査学習 共生社会の課題
- 15週目 調査学習 共生のための介入の必要性、テスト
- 16週目 調査学習についてディスカッション。やむを得ず16週までの内容を実施できな かった場合は補講授業

● 準備学習(予習・復習)等の内容

毎週、予習復習に合計2時間を確保し、指定したテキストを事前に通読し、意味が分からない箇所に印をつけてください。重要だと思ふ箇所にはアンダーラインを引いてください。

授業終了後は、テキストや授業の資料を再読し、授業でとりあげた理論を使って身の回りの出来事をどこまで説明できるか、考えてみてください。

● 成績評価の方法・基準

授業中の質問・コメントの頻度と内容（約10%）、テスト結果（約60%）、および課題の内容（約30%）を総合して評価します。
課題の提出を以て出席とします。

● 履修上の留意点

テキストを完全に理解することよりも、とにかく読んで、疑問点や面白いと思つたことを講義での発表や質問に生かしてください。
GoogleMeetを使ったリアルタイムのオンライン授業と対面授業を組み合わせます。
課題提出と返却はオンラインで行いますので、コースパワーとGoogleClassroomを毎回の授業の前後に確認してください。
授業中のほか、コースパワーのQ&Aでも質問を受けます。

● 課題に対するフィードバックの方法

コースパワーとグーグルクラスルームを通じて、提出された課題の採点結果とコメントを個別に連絡します。
課題についての質問は、コースパワーのQ&Aで受けつけます。

● テキスト

那須寿ら編著『クロニクル社会学』（有斐閣）2268円
東アジア政治思想Aと同じテキストを使います。

● 参考書

飯田俊郎、櫻井義秀編著『アンビシャス社会学』（北海道大学出版会）2160円

● 更新日付

2020/08/19 06:29